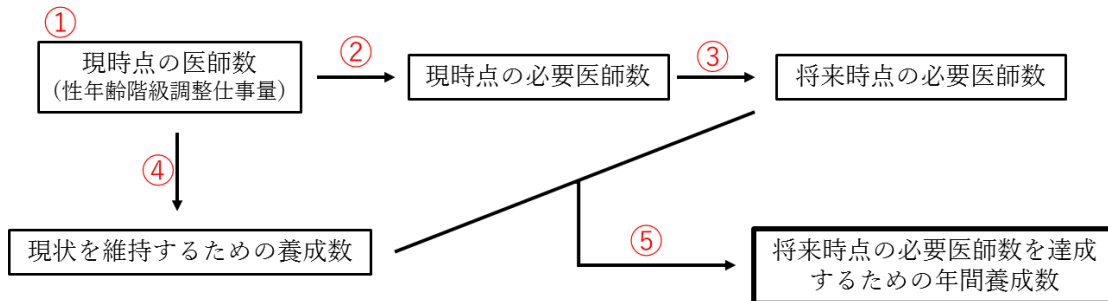


都道府県別診療科必要医師数および年間養成数の計算方法

・将来時点の必要医師数を達成するための年間養成数の計算の流れ



$$\text{① 性年齢階級別主たる診療科別医師数} \times \frac{\text{性年齢階級別勤務時間}}{\text{性年齢階級別平均勤務時間}}$$

②各診療科別の勤務時間特性、勤務時間の制限等を仮定したマクロ需要推計¹⁾を用いて算出

③性年齢疾患別受療状況・疾患別診療科シェア²⁾、将来の性年齢階級別人口推計³⁾を用いて調整

④診療科別の生残率(将来時点まで残る割合)⁴⁾を用いて算出

⑤現状を維持するための養成数に加え、将来時点の必要医師数が満たされるように生残率を考慮して算出

(将来時点の必要医師数を達成するための年間養成数)

$$= (\text{現状を維持するための養成数}) + \frac{(\text{将来時点の必要医師数}) - (\text{現時点の医師数})}{(\text{診療科別生残率})}$$

1) 各診療科別勤務時間等（「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」結果を基に作成）及び医師需給分科会第3次中間取りまとめにおける勤務時間を週60時間に制限する等の仮定をおくマクロ需要推計の推計値（需要ケース2）を利用

2) DPCデータを用いて、疾病別診療科別患者数シェアを算出し、マクロ医師需給推計を用いて入院・外来の比率の重み付けを行った。

3) 国立社会保障・人口問題研究所 人口推計を利用

4) 平成20～28年度三師調査を利用

* 都道府県ごとの必要医師数を達成するための年間養成数の計算は、都道府県別の医師数を用いて上記と同様の手順で計算を行った。